

会員募集

日本材料学会は「材料の諸性質を明らかにして材料の開発ならびに合理的な使用を期する」ことを目的として、あらゆる分野を統合し、会員相互の研究の連絡・知見・情報交換の場を提供しております。日本材料学会の発展ひいては材料学 (Materials Science) の確立のため 1 人でも多くの会員の入会を切望いたします。

ご関係先のご知友でいまだ入会されておられない方がございましたら、この際ぜひご入会をお薦めくださるようお願い申し上げます。支部または部門委員会より紹介をうけてご入会される場合は支部、部門委員会名を申込書にご記入ください。

入会手続

入会申込書各欄に所要事項ご記入のうえお申し込みください。

会費 (入会金不要)

- | | | |
|----------------------|----|----------|
| ・正会員 (個人) | 年額 | 11,000 円 |
| ・賛助会員 (会社等団体) 1 口につき | 年額 | 65,000 円 |
| ・学生会員 A (博士課程まで) | 年額 | 5,000 円 |
| ・学生会員 B (博士課程まで) | 年額 | 3,000 円 |

学生会員については会誌送付について選択願います。会誌送付なしの場合でも投稿資格など他の特典は同様に受けられます。

会員資格

会社、団体、学生以外の個人は正会員とします。

博士課程までの学生は学生会員とします。

会社等、団体の入会は賛助会員として願います。賛助会員 1 口につき会誌毎号 1 冊お届けします。

会員の特典

1. 会誌 (月刊誌「材料」) の無料配布
2. 月刊誌「材料」への投稿資格 (正会員・学生会員に限る)
3. 学術講演会での発表資格 (正会員・学生会員・名誉会員・賛助会員)
4. 講演会・シンポジウム・講習会・見学会・セミナー等のご案内と優先参加
5. 会誌以外の出版物の優先頒布
6. 部門・研究委員会への参加

疲労部門委員会、高温強度部門委員会、PC 構造部門委員会、X線材料強度部門委員会、腐食防食部門委員会、木質材料部門委員会、地盤改良部門委員会、塑性工学部門委員会、岩石力学部門委員会、コンクリート工用樹脂部門委員会、極限環境部門委員会、コンクリート用骨材部門委員会、コンクリート用混和材料部門委員会、複合材料部門委員会、フラクトグラフィ部門委員会、信頼性工学部門委員会、セラミック材料部門委員会、破壊力学部門委員会、高分子材料部門委員会、衝撃部門委員会、強度設計・安全性評価部門委員会、分子動力学部門委員会、マイクロマテリアル部門委員会、半導体エレクトロニクス部門委員会、生産科学部門委員会、¹環境材料部門委員会、ナノ材料部門委員会、生体・医療材料部門委員会、金属ガラス部門委員会

7. 材料学に関する研究の委託
8. 学会賞 (論文賞、技術賞、学術奨励賞、学術貢献賞) の被推薦者および推薦者になることができます。
9. 材料学に関する広範な技術について「技術認証制度」を利用することができます。

入会申込書記入要領

1. 入会申込書は別紙「記載例」ご参照のうえ正確にご記入ください。なお、賛助会員入会については、所在地を (勤務先所在地) に、社名等団体名を (勤務先名) に、郵便番号、電話番号、FAX 番号をそ

それぞれ各項目にご記入ください。氏名、ふりがなの欄には社名等団体名のふりがなのみをご記入下さい。

特に会誌送付先を限定される場合(例： 課 宛、図書係宛など)はその旨備考欄にご記入ください。

2. 記入については次の点にご注意下さい。

(1) 生年月日の項は、例えば昭和58年1月1日の時、

年号	昭和
58年1月1日	

とご記入ください。

(2) 「株式会社」は(株)と記入してください。

(3) 所在地、住所欄(自宅住所および勤務先所在地)は次の要領で記入してください。

「東京都23区」は東京都・・・と記し、「市」は都道府県名を省略してください。

「番地」はMM丁目NN番地の時、・・・町MM-NNのように“-”でつないで、「丁目」「番地」等は省略してください。

「自宅住所」「勤務先名」「所在地」「電話番号」「FAX番号」については記入例を参照して正確に楷書で記入してください。

「府県コード」は下記の「都道府県コード表」によるコードを記入してください。

北海道	01	埼玉県	11	岐阜県	21	鳥取県	31	佐賀県	41
青森県	02	千葉県	12	静岡県	22	島根県	32	長崎県	42
岩手県	03	東京都	13	愛知県	23	岡山県	33	熊本県	43
宮城県	04	神奈川県	14	三重県	24	広島県	34	大分県	44
秋田県	05	新潟県	15	滋賀県	25	山口県	35	宮崎県	45
山形県	06	富山県	16	京都府	26	徳島県	36	鹿児島県	46
福島県	07	石川県	17	大阪府	27	香川県	37	沖縄県	47
茨城県	08	福井県	18	兵庫県	28	愛媛県	38	その他	99
栃木県	09	山梨県	19	奈良県	29	高知県	39		
群馬県	10	長野県	20	和歌山県	30	福岡県	40		

(4) 卒業学校名の欄は、次の要領で略記してください。(記入例参照)

通常呼ばれている大学は次のように略記

例：北大、東北大、東大、京大、阪大、九工大、岩手大、富山大、都立大、東農大、東農工大、京工織大、立命大、早大・・・等

学部・学科は略号で記入

例：理学部 理、工学部 工、農学部 農、機械工学科 機械、土木工学科 土木、化学工学科 化工、生産機械工学科 生産機械・・・等

(5) 専門分野は「専門分野の略号とコード表」の専門番号を記入してください。